

四日市市PTA連絡協議会
発行責任者：丹羽 昌邦
編集：市川 稔規

市P連ニュース

四日市市PTA連絡協議会事務局

〒510-8601 四日市市諏訪町1-5
四日市市教育委員会 社会教育・文化財課内
☎ 059-354-8238 FAX 059-354-8308
連絡時間/月・火・木・金 9:30~15:30

会員のみなさまの声をお待ちしております。 四日市市PTA連絡協議会 <https://www.4pta-lc.com>

会長あいさつ

四日市市PTA連絡協議会会長 丹羽 昌邦



日頃はPTA活動にご尽力頂き、心より感謝申し上げます。また四日市市PTA連絡協議会の活動にも、ご理解とご協力を賜り、重ねて御礼申し上げます。いつの時代におかれましても、子ども達は地域の宝であり、四日市のひいては日本の未来であります。そんな子ども達に、より良い教育環境を作り上げていくことが、PTA活動の根幹にあると考えます。我々、四日市市PTA連絡

教育長あいさつ

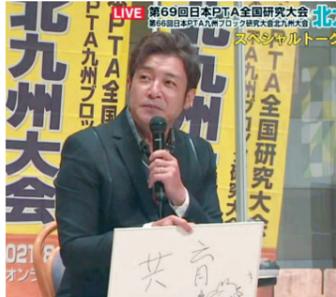
四日市市教育長 廣瀬 琢也



8月後半の新型コロナウイルス感染症の急激な拡大により、子どもたちの安全・安心の確保と学習の機会の保障を両立させるため、2学期のスタートはオンライン学習としました。通信状況が不安定となる事象が多く発生する中、家庭での様々なご支援・ご協力のおかげにより、子どもたちの学びを進めることができました。日頃からの本市教育行政の推進にかかるとご理解とご協力への感謝とともに併せてお礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症は、私たちの社会生活のあり方を大きく変えました。いまではWeb会議システムの利用が当

隣地域とこれまで以上に連携して、この困難を乗り越えていきたいと思っております。また、昨年より一人1台のタブレット端末が配布され本格的にICT教育が取り入れられました。より良いICT教育の実現には家庭環境も大変重要な役割があります。しかし近年、共働き家庭が増加し、仕事に家事に育児にと、より一層保護者の負担も増えています。そして育児に大変な不安を示されるご家庭もご見受けいたします。PTA活動を行っていく中で、各ご家庭でのケアも必要であることを皆様認識し、取り組んで頂ければ幸いです。結びとなりますが、四日市内のすべてのPTA活動がこのコロナ禍という困難を乗り越え、より発展しますことと、会員一人一人の皆様方のご健康とご多幸を祈念致しております。

北九州大会



令和3年8月21日、第69回日本PTA全国研究大会北九州大会が行われました。昨年度の富山大会は残念ながら中止となり、今年度も引き続き開催が厳しい状況となりました。しかし、メインテーマのひとつでもある、どんなときも「歩み続ける」PTA活動の理念のもと、初めての試みであるオンラインでの開催となりました。スペシャルトークセッションでは、ゲストにタレントのつるの剛士さんを含む6名の方にお願いいただき、「教育」について、それぞれの考えをお話されていきました。続いて、ゲスト6名の方が一緒に事前収録されたお笑い芸人EXITと石戸奈々子さんの対談VTRを視聴しながら、コロナ禍の教育格差、オリジナリティの見つけ方、先生達の教育について、それぞれの立場からの意見が述べられていきました。また学校教育とゆかりのある方々による対談も配信されていきました。ここでは私達PTAのこれからの在り方について、貴重な問題提起もされました。子供達は日々、学校で学び、成長しています。先生もまた子供達に教える立場でありながら教育現場で学ぶ事は沢山あるそうです。そして、私達PTAも活動を通して学び成長していく中で、子供、学校、地域のつなぎの役割を担って行くのです。決して外から見守る観客ではなく、当事者となり学校と対等であれば

ぎふ大会

日本PTA東海北陸ブロック研究大会

令和3年10月23日(土)岐阜市の長良川国際会議場にて、日本PTA東海北陸ブロック研究大会(清流の国ぎふ大会)が開かれました。同大会は三重、愛知、岐阜、石川、福井、富山の各県と名古屋が持ち回りで開催されています。今年度は新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、オンライン配信となりました。令和4年2月20日まで配信されました。分科会では、家庭教育、学校支援、地域連携をテーマに、地域伝統の踊りへの親子参加や卒業証書の手作りなど、12のPTAによる取り組み事例の発表がありました。そして研究テーマ毎に教育課題に焦点を当てた講演も行われました。全体会では民間で宇宙ロケット開発に取り組む「植松電機」(北海道赤平市)の植松努社長の記念講演が行われました。「失敗を避けると成長できなくなる」など開発への向き合い方や仲間と力を合わせる大切さが語られていきました。小さいころから飛行機とロケットが大好きだった植松社長ですが、周りの人からは「飛行機やロケットを仕事にするのは無理」と言われていました。数々の否定の声を聞き、諦めかけたのですが、夢を語ることでその道は徐々に開けていき、ロケット開発に携わること

思うは招く

夢があればなんでもできる

ぎふ大会

特別対談 EXIT 石戸奈々子

広報紙コンクール

2021年度の四日市市PTA連絡協議会広報紙コンクールは、新型コロナウイルスの影響により一部変更して開催されました。表彰式・展示会は中止となり、審査結果は2月19日(土)市P連ホームページへ掲載し、発表とさせていただきます。各賞を受賞された学校・園には、後日表彰状をお届けいたします。ここに厳正なる審査の結果、入賞校・園のご報告をいたします。本年度は幼・小・中合わせて20校・園の応募がありました。昨年度に続きコロナ禍で行事など縮小の中、各校・園工夫されて、子どもたちの様子やPTA活動を掲載されている、とても素晴らしい作品ばかりでした。広報紙を作成された皆様の思いが集結されていたように感じました。

- 最優秀賞 小山田小学校「おやまだ」
- 中目新聞四日市ホームニュース賞 西朝明中学校「にしあさけ」
- 優秀賞 大池中学校「おおいけ!!」・川島小学校「さんぼみち」
- 表紙部門賞 富洲原中学校「TOMISUHARA」・羽津北小学校「けやき」
- レイアウト部門賞 海蔵小学校「かいぞう」・三重小学校「さぎそう」
- 企画部門賞 内部幼稚園「ちゅーりっぷ」・泉小学校「あがた」
- 入選 富洲原小学校「すずかけ」・大矢知興譲小学校「興譲」 保々小学校「ひろば」

総務委員会

総務委員会は単位PTA代表の皆様が参加される「常任委員会」や「ブロック会」などの資料作成や議事進行などに携わっていますが、約半分の会議が中止となり、活動が制限される中どうすれば効率の良い連携が出来るかが課題となりました。

現地に集まらざる会議に加え、昨年度から取り入れた新しいスタイル「オンラインミーティング」を有効活用した会議により、何とか皆さんに参加して頂く形として維持が出来るようになりました。単位PTAより選出された総務委員の皆さんにも新しい会議の実践をして頂きました。コロナ禍の現状が続く今、今後の基礎・主役となっていく型となりそうです。

子ども達の安心・安全な学校生活には、PTA活動は立ち止まる事出来ない欠かさないものだと思います。今後も皆様の協力、宜しくお願ひ申し上げます。1年間ありがとうございました。

- 井上 博仁 (委員長・白永小P)
寺本 真由美 (副委員長・塩浜小P)
藤田 嘉彦 (副委員長・常磐中P)
西尾 雅紀(富田中T)
小森 広美(保々中P)
鈴木 知恵美(八郷西小P)
石川 史織(常磐西小P)
稲垣 和樹(三重西小P)
加田 真吾(楠小P)
田中 嘉文(内部中P)
丹羽 昌邦 (市P連会長・川島小P)



中学校委員会

中学校委員会では「中学生の勉強方法」をテーマに、コロナ禍においても受験生である3年生が家庭でどのように勉強をしているかを生徒にアンケート調査をして、まとめました。今年度も委員会開催が困難だったため、2回目からオンライン開催にしました。アンケートの結果は中学校委員会だよりに掲載していますので、ご覧頂ければと思います。

委員の皆様にはお忙しい中、委員会活動や高校展のお手伝いにご協力頂き大変感謝しております。1年間本当にありがとうございました。

- 松井 順子 (委員長・中部中P)
仲野 結 (副委員長・大池中P)
渡辺 恵子(山手中P)
植原 美和(三重中P)
上戸 恵美(西笹川中P)
打田 晃士(三重中T)



小学校委員会

小学校委員会では今年度は「AED」をテーマに小学校委員会だよりの発行に向けて活動してきました。

今年度も新型コロナウイルスの影響により、委員会開催は2回でしたが、SNS等で積極的に意見を出し合い、充実した内容のたよりが出来ました。各学校や色々な施設に設置されているAEDの認識を深めていただければという思いで作成致しました。是非ご家庭で「読下

さい。

委員の皆様のおかげで素晴らしい小学校委員会たよりを発行することが出来ました。お忙しい中、1年間ご協力頂き本当に有難うございました。

- 葛西 俊昭 (委員長・水沢小P)
大島 友美(羽津北小P)
長谷 兆(中央小P)
白木 充(小山田小P)
小林 真弓(下野小T)



こども園幼稚園委員会

こども園幼稚園委員会は、委員長、副委員長、各ブロックの委員さん、計5名で活動しました。

今年度は心理学の先生の講演会を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響があり開催方法を変更し、動画を作成して頂き委員会で見聴し感想をまとめたものを新聞としました。

テーマは「お父さんお母さんをしなやかにする心理学講座」です。30分程度の動画で内容は委員会で決めた3つのテーマを解説して頂いたものでとても分かりやすく元気な先生の声に励まされ子育てのヒントをもらえ温かな気持ちになりました。

- こども園幼稚園委員長を2年間担当させて頂きました。委員の皆様のご協力のおかげで楽しく活動することができました。心より感謝しています。本当にありがとうございました。
田中 マキ (委員長・八郷小P)
生川あかね (副委員長・富田小P)
下村 英理(羽津幼稚園P)
西村智恵子 (四日市幼稚園P)
小林 由吏(泊山幼稚園P)

広報委員会

広報委員会の主な役割は、市P連ニュースの発行と広報紙コンクルールの開催ですが、市P連ホームページの更新作業も一部担当しています。

今年度は、昨年度よりもオンライン配信を活用したイベントが増え、主にそれらのイベントの記事として取り上げ、委員の皆様のご協力にて、市P連ニュースを仕上げる事が出来ました。

コンクルールに関しては、コロナ禍で、かつ8月からの急激な感染拡大により、各校園とも広報紙を作る事が困難な状況だったと思います。そんな状況でも魅力いっぱい広報紙を多数応募いただき、誠にありがとうございました。各広報担当の皆様のご責任感と熱い思いを感じました。また、表彰式・展示会は再び急激な感染拡大のため、中止となり、結果は市P連ホームページでの発表となりました。

刻々と変わる社会状況の中でしたが、委員の皆様と協力し合い、楽しく活動させて頂くことが出来ました。1年間ありがとうございました。

- 市川 稔規 (委員長・大矢知興譲小P)
小畑 貴一 (副委員長・橋北中P)
阿部 梨江(富田中P)
有澤 佐知子(三滝中P)
森田 圭一(河原田小P)
岡崎 真寿(南中T)

顧問参与・相談役

顧問の先生方には、子どもたちの育成と健やかな成長のために、学校・園と保護者をつなぐ架け橋として、温かいご助言・ご指導をいただきました。

また、市P連からも顧問・参与・相談役が選出されており、経験を活かした助言等を頂きました。

- 伊藤 和成先生 (顧問・富洲原中学校)
伊藤 博之先生 (顧問・保々小学校)
佐藤 敦子先生 (顧問・羽津幼稚園)
松本 和也 (顧問・前市P連会長)
杉戸 雅巳 (参与・元市P連会長)
岸田 諭紀 (参与・元市P連会長)
原田 努 (相談役・前市P連副会長)
川井 奈穂子 (相談役・前市P連副会長)
亀田 京子 (相談役・前市P連副会長)
石原 文香 (相談役・前市P連副会長)

家庭の日 中学生からのメッセージ



令和3年11月14日(日)家庭の日啓発事業として、「中学生のメッセージ発表」と講師を招いての「講演会」が予定されていましたが、新型コロナウイルスの影響により、どちらも中止となりました。

「中学生のメッセージ発表」では「第43回少年の主張三重県大会」にて、「私が考えるガイドヘルプ」で、書面審査の結果、優良賞を受賞した富田中学校の上平紫里さんに、発表していただく予定でした。

「私が考えるガイドヘルプ」の原稿からは、困っている人への思いやりと、自分の得意とする事で、助け合いたいという思いが良く伝わりました。

困っている人がいても「果たして自分が助ける事が出来るだろうか」と躊躇み出せないこともありますが、誰にも「こういう得意分野があり、それをわかりやすく自ら発信するヘルプマークがあれば、自然と助け合いが生まれるでしょう。」

「そんなガイドヘルプが増えて欲しいな」というその思いに強く共感しました。

三四地区高校展

11月6日(土)、四日市市総合体育館、勤労者・市民交流センターに於いて第5回三四地区「高校展」が開催されました。

昨年度は、新型コロナウイルスの影響でオンラインのみでの開催でしたが、今年度は会場に約500人の児童・生徒・保護者の方々に会場頂きました。

10時から16時までの6時間ではありましたが、高校別に分かれたブースで各学校の説明を熱心に聞き入っていました。また、市P連ホームページでは令和4年3月31日まで、特設サイトが設けられています。来年度も三浜文化会館での開催が予定されています。

※高校展とは：鈴鹿・四日市・亀山・菟野・いなべ・桑名・川越の高等学校が集まり、学校の特色や現在力を入れている分野・部活動などの高校生活についての説明して頂ける展示会です。小6・中学生・保護者・教職員と高校進学にかかわる方が対象です。



PTA会員寄稿

令和3年9月の緊急事態宣言により通常登校は見送られ、オンライン授業が始まることになりました。1回目の緊急事態宣言時も在宅授業でしたが、今回はZOOMを使つてのオンライン授業になり、ネットを使った授業へと変化しました。

子供たちも学校ではタブレットを使った授業もしているしZOOMの使い方も習ったみたいですが、親子共々色々不安の中、小学生のオンライン授業を自宅で行いました。

我が家では小学3年生と小学1年生の子供がいるのですが、自宅の部屋数が少ないため、オンライン授業の時間は同じ部屋で向かい合って授業を受けました。子供に聞いたところ「別に向かい合って授業受けても気にならなかったよ」と言ってくれて一安心。通信環境については繋がらない日がよくありました。親が必死になり学校に問い合わせたりしましたが、自習になる日が多かったです。小学1年生の息子は自分でタブレットの操作が出来ずほぼ親が操作を行いました。

オンライン授業終盤、小学校3年生の長女は要領よくオンライン授業を進められるようになってきて朝早くからスタートすることも、何も言われなくてもタブレットを自分で立ち上げるようになっていました。

事前に課題に優先順位をつけて、午前中にやることと午後やることを分ける。もし早く終わったら、翌日の課題をやっておく。どうすれば早くできるのかを考えるようになっていたと思います。

社会に出たら、授業なんてない。与えられた仕事の優先順位を自分で決めて仕事をすすめていく必要がある。今回のオンライン授業では、そんな考え方も学べた良い機会だと思います。また緊急事態宣言などでオンライン授業が続くかわからないけれど、子供達にはこの機会に勉強以外のことでも成長してもらいたいとZOOM授業を傍から見ながら感じました。

編集後記

多くの方々のご協力のおかげで、本年度も「市P連ニュース」を無事発行することができました。この発行にこぎつけるまで、昨年からコロナ禍による様々な事がありました。諸々のイベントや対面での会合の中止などが続き、紙面構成の対応も試行錯誤の連続でした。

例えば、2021年、私たちの生活は、コロナ禍の影響を受けて大きく変化しました。社会に出て人との触れ合いが減る中、人と人の繋がりの大切さに気づき、オンラインなどのICT機器を使い、人と人の繋がりを紡いだ年であったように思います。

PTA活動も同じで、慣れないオンラインでの会合で、機器等の取り扱いに苦労しながらも、顔を合わせたときの安心感、はたも心に残るものでした。まだまだ先の見えない状況ではありますが、「子どもたちのために」というPTAの理念と、人と人の繋がりを大切にしていけば、みんなが幸せな未来が訪れると確信しています。

最後になりましたが、この紙面を作成するにあたり、たくさんの方々にご協力いただきましたことに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

市P連ホームページをご覧ください。



市P連では昨年度よりホームページを開設しています。当協議会の活動や役割についても掲載しておりますので、是非ご覧ください。



https://www.4pta-lc.com/